

土着カブリダニ類によるモモのハダニ類防除

福島県農業総合センター果樹研究所 病害虫科

1 部門名

果樹—モモ—病害虫防除

2 担当者

川口悦史・星 博綱・荒川昭弘

3 要旨

選択性殺虫剤を中心とした防除体系を実施することで、モモのハダニ類は殺ダニ剤を使わなくても、保護された土着のカブリダニ類によって抑制できる。

(1) 殺虫剤防除体系は、天敵に影響の少ない選択性殺虫剤を中心に実施し、殺ダニ剤は使用しなかった(表1)。

(2) 天敵保護区では、土着のカブリダニ類の密度が高かった(図1)。

(3) 天敵保護区では、ハダニ類の密度は要防除水準以下に抑えられた(図2)。

表1 所内試験における殺虫剤防除体系(2015年)

散布日	天敵保護区	天敵排除区
発芽前	ハーベストオイル(マシン油)	ハーベストオイル(マシン油)
4月6日	—	ダズパンDF(クロルピリホス)
5月7日	ウララDF(フロニカミド)	アディオフロアブル(ペルメトリン)
5月29日	ノーモルト乳剤(テフルベンズロン)	スプラサイド水和剤(DMTP)
6月11日	コルト顆粒水和剤(ピリフルキナゾン)	サイアノックス水和剤(CYAP)
6月24日	デミリン水和剤(ジフルベンズロン)	ハチハチフロアブル(トルフェンピラド)
7月10日	フェニックスフロアブル(フルベンジアミド)	ダイアジノン水和剤(ダイアジノン)
8月11日	—	ハチハチフロアブル(トルフェンピラド)

()内は殺虫剤の成分名

天敵保護区の下草管理は、乗用の草刈り機で慣行栽培と同様に行い、除草剤は使用しなかった。

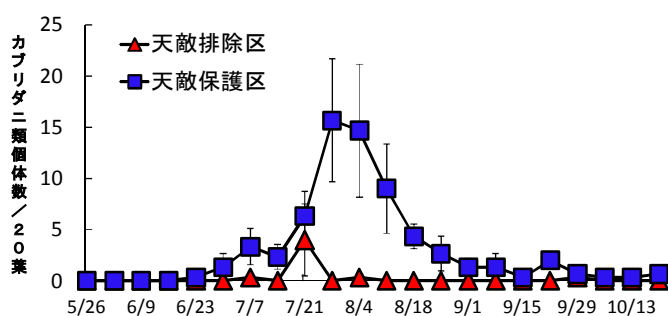


図1 異なる防除体系におけるモモ葉のカブリダニ類の発生推移(2015年)

バーはSE(n=3)

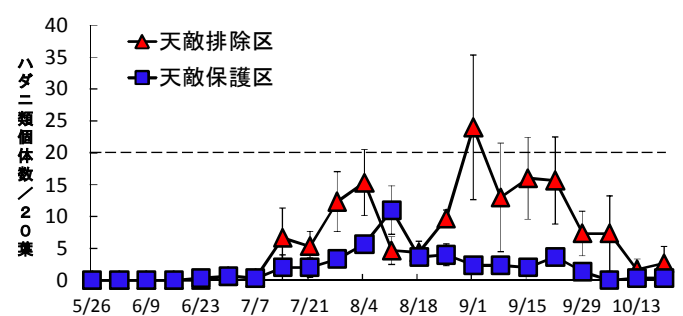


図2 異なる防除体系におけるモモ葉のハダニ類の発生推移(2015年)

破線は福島県のハダニ類要防除水準
バーはSE(n=3)

4 成果を得た課題名

(1) 研究期間 平成24年度～27年度

(2) 研究課題名 果樹園における土着天敵の活用技術の開発と天敵供給源としての役割の解明

(3) 参考となる成果の区分 (発展見込)

5 主な参考文献・資料